



[対象]
小・中学校の
教員
全教科

子どもたちの資質・能力を育む
未来へつなぐ
教育計画

2023年度 ソニー子ども科学教育プログラム 小・中学校の教員向け

「課題にもとづいた教育方針と実行計画」を論文にまとめて
応募してみませんか

未来を担う子どもたちに必要な資質や能力を考え、日頃から指導の改善や創意工夫を行っている先生方のこれからの教育方針と実行計画をテンプレートに沿ってまとめた論文を募集しています。

応募いただいた全ての教員に助成などの支援をしています。

受付期間

2023年8月1日(木) ~ 2023年8月31日(金) 15時

審査委員会による審査講評と

ソニー製品を全応募者に



公益財団法人
ソニー教育財団

募集内容

テーマ 「未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育む」

内容 課題に基づいた教育方針と実行計画(全教科対象)

課題 これからの時代を生きていくためには夢と好奇心と高い志を持ち、未知のものを探究し、新しいものを創造していこうとするなどの資質や能力が求められます。こうした資質を伸ばし、能力を育成するための教育方針と実行計画について提案してください。

課題詳細と評価の観点 現在の子どもの状況や経緯などから自分なりの研究課題を設定し、独自性のある工夫された実行計画を①～④の項目ごとに示した内容に沿って記述し、各項目の分量目安を参考に全体をA4判10ページ以内にまとめてください。

① 育てるべき資質や能力 1ページ程度

自分で設定した未来を担う子どもたちを育てるべき資質や能力について、その必要性を踏まえて記述する。

評価の観点 明確性、必然性、論理性、こだわり(信念、想い)など

② 子どもたちの現状 1~2ページ程度

子どもたちの置かれている状況、学習レベルなどを客観的に把握することによって収集した情報に基づき、子どもたちの現状について記述する。

評価の観点 客観的分析、裏付けになる情報とその信憑性など

③ 教育支援の方針 2~3ページ程度

収集した現在の情報に加え、過去の実践経験や知見(失敗)なども踏まえ、教育支援の方針を記述する。

評価の観点 妥当性、必然性、将来性、着眼点など

④ 実行計画と準備状況 3~4ページ程度

教育支援の方向性をもとに、「自分がいつ、何をどのように行うのか」具体的な実践や行動に落とし込み、来年度以降の実行計画と準備状況を明確に記述する。

評価の観点 計画の実現性、継続性、具体性、独自性/新規性、汎用性など

※分量は目安であり、規定ではありません。

助成内容

入選者 研究助成金 10万円 使用用途の指定はありません。

全応募者 ソニー製品

全応募者に

ソニー製品

審査委員会による
審査講評

ご応募いただく論文および関連情報について、以下の点をあらかじめご理解・ご了承の上、ご応募ください。

論文、応募者名、学校名、所在地、研究内容などの関連情報は、当財団が、成果の還元、普及や、広報活動のために使用、公開させていただきます。論文を本プログラム以外で使用、公開、出版、掲載することを希望される場合には、事前に当財団にご連絡の上、許可を得ていただきます。応募情報(論文含む)は、当財団が、本プログラムに関する審査結果の通知、各種行事の案内、その他の連絡・確認のために使用させていただきます。ご応募いただく論文は、関連するすべての権利(本文および使用された写真等にかかる著作権、ならびに上記の当財団による使用等を許諾する権利を含むがこれに限らない)を、応募者が保有しているものに限ります。

募集要領

受付期間	2023年8月1日(火)～2023年8月31日(木) 15時 送信完了分まで
募集対象	国立、公立、私立の小学校、中学校、特別支援学校等の教員 <small>・管理職(校長、副校長、教頭)の方は応募できません。 ・1校から複数名ご応募いただいても構いません。ただし、類似する内容は不可とします。</small>
応募方法	当財団ウェブサイトのトップページより論文応募サイトへユーザー登録のうえログインし、応募フォームより論文(PDF)をお送りください。
作成規定	当財団ウェブサイトにあるテンプレートをダウンロードして作成してください <ul style="list-style-type: none">・A4判サイズで最大10ページ・文字サイズ:本文/10.5ポイント以上、図表/8ポイント以上・図表の挿入は本文を補完するためのものに限る・参考・引用文献がある場合は本文中に明記・作成したファイルをPDFに変換し、応募フォームよりお送りください
入選発表	2024年1月中旬以降 ソニー教育財団ウェブサイトにて発表予定。
成果発表	入選者には、受賞の翌年度に以下の成果発表を行っていただきます。 <ul style="list-style-type: none">・論文の全文公開(写真を含む)・提案した計画(もしくはその一部)を実行し、2024年度「子ども科学教育研究全国大会」のポスターセッションにて成果(経過)発表
留意事項	<ul style="list-style-type: none">・ソニー子ども科学教育プログラム「教育実践論文」へ応募した研究代表者は、同年度の「未来へつなぐ教育計画」へは応募できません。・他に応募したものの重複・二重応募は、審査対象外とします。

応募方法



論文をPDFファイルにして、応募フォームよりお送りください。
応募完了後、送信した情報の変更はできません(論文の差し替え含む)。
内容に不備がある場合は受理できません。また、論文は返却しません。

応募フォームは
2023年8月1日公開予定

まずは
ユーザー登録!

論文を応募するには
ユーザー登録が必要です。

登録後の連絡は
メールでお送りします。
必ずご確認ください。

論文送信完了もメールで
ご連絡します。

メールで
連絡します!

応募フォームは
一時保存が可能!

応募フォームは
入力項目が多数あり、
送信に時間がかかります。
早めにご入力を。

趣旨

現在日本は、経済のグローバル化や人工知能の進化、そして少子高齢化など、様々な急速な社会的変化に直面しています。さらに、より高度な情報・知識に基づく多様で高い付加価値の提供が求められる社会状況の中で、子どもたちが生き抜き、人生を切り拓いていくために求められる資質や能力を育むことはとても重要です。教育課程においてその資質や能力を育むことに積極的に取り組んでいる先生方を応援いたします。

2022年度入選者

今村落(千葉県) 千葉市立緑町中学校	山畑朗子(東京都) 品川区立豊葉の杜学園
佐久間広(東京都) 八王子市立上柚木小学校	金子紅里(新潟県) 糸魚川市立田沢小学校
河本康介(新潟県) 三条市立大崎学園	小西信行(京都府) 京都市立北野中学校
高野将吾(福岡県) 朝倉市立甘木中学校	赤星愛(熊本県) 国立大学法人熊本大学 教育学部附属小学校
新名主敏史(鹿児島県) 学校法人津曲学園 鹿児島修学館中学校	久富哲朗(スペイン) バルセロナ日本人学校 (敬称略)

ソニー教育財団の活動 —60年以上に亘るソニーの教育助成—

ソニー創業者 井深大は、次世代を担う子どもたちの科学教育の充実のため、1959年に学校への「ソニー理科教育振興資金」の助成活動を開始しました。その後、井深の関心は乳幼児期の教育と人の心を育てることの大切さへと広がり、1969年に「幼児開発協会」を設立しました。井深の志を受け継ぐこれらの事業を継続的に発展させるため「ソニー教育財団」となり、現在はおもに乳幼児期から高校生までの「科学する心を育てる」「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱にした教育助成を行っています。不確実な時代を生きる子どもたちが、どのような困難にも好奇心と信念をもって立ち向かい、明るい未来を切り拓いていけるよう、子どもたちの「科学する心」を育む環境づくりを応援しています。



小・中学校の先生への支援



子ども科学教育研究全国大会

学校・個人学校を対象とした「教育実践論文」で最優秀校に選ばれた学校を会場に「子ども科学教育研究全国大会」を開催しています。最優秀校の取り組みを研究発表や授業公開で共有し、また、授業者と語る会やポスターセッションなどを通して、地域や校種を超えて教員同士が交流し、意見交換できる場となっています。未来を支える子どもたちのために日々研鑽を重ねる先生方を支援しています。



トップリーダー育成研修会

「未来を支える子どもたちのために、教育改革に取り組むリーダーを育成する」ことを目的に、中堅の先生方を対象とした研修会を開催しています。多彩な講師陣の教育への想いに触れ、社会人サポーターと一緒に教育と社会を見つめ直すチーム活動を1年間に渡って展開していきます。

子どもたちへの支援

科学への興味を深めるため、ソニーグループの技術者が講師となって行う、小・中学生、高校生を対象にした「ソニーものづくり教室」の開催を支援しています。

乳幼児のための「科学する心」ネットワーク

「科学する心」の視点で乳幼児期の子どもの「ワクワク・ドキドキ」を見つめながら、さまざまな地域の仲間と保育の実践や悩みを共有し合い、学び合う活動を行っています。会員専用Facebookグループでは大勢のメンバーが繋がり、保育について語り合っています。「明日の保育をともに考える」仲間に、あなたもありませんか？

